

『ピア・サポートいっぱい』の青小

～いつでも だれにでも ピア・サポート

藤枝市立青島小学校

| 月別 | ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事 | プログラム | 職員研修 |
|-----|---|--------------------------|-----------------------------------|
| 4月 | ペア顔合わせ 1年生を迎える会 遊具の使い方(1, 2年) 掃除のお手伝い(1, 6年) 校内子ども会 | 思いやりステージ「ほめる」「認める」 | 職員会議による提案 各学年の目指すピア・サポートの具体的な姿 |
| 5月 | あいさつボランティア 野菜の苗植え(地域) | | 授業を見合う会 ピア・サポート掲示板作成 |
| 6月 | 杉星キャンプ 読書週間 | 高め合いステージ「励まし」「後押し」「助け合い」 | 学校生活アンケート |
| 7月 | 自然教室(5年) | | 職員研修 |
| 8月 | | ありがとステージ「感謝」 | ピア・サポート伝達 |
| 9月 | | | 学校生活アンケート |
| 10月 | 修学旅行(6年) | | |
| 11月 | 運動会 読書週間 クラブ活動 | | |
| 12月 | クラブ活動 | | |
| 1月 | 読書週間 | | 学校生活アンケート 教育課程振り返り |
| 2月 | 6年生ありがとうの会 | | 次年度 年間計画提案 |
| 3月 | 校内子ども会 | | |

↑

特別活動
良さを認め合うピア・サポートの推進

生徒指導
三方よし・明るく気持ちのいいあいさつ・互いを大切にしよう優しい言葉と行動

研修
聴く力・話す力の育成・必要感のある関わり

↓

いつでも
だれにでも
ピア・サポート

日常の中で
(授業・生活・掃除・給食・休み時間・登下校など)

1 本校のピア・サポート

本校の学校教育目標は、「明き心と 思いやり 自ら動き 学び合う子」である。特に本校では、特別活動の重点として「良さを認め合うピア・サポートの推進」を掲げている。日々の授業をはじめ、日常生活の中で子供同士によるピア・サポート見つけ、教師による価値付けや指導を行っている。3学期3ステージ制となった今年度は、思いやりステージでほめる、認めること、高め合いステージで励まし、後押し、助け合い、ありがとうステージで感謝と視点を設けた。日常的なピア・サポート見つけを促そうと～いつでも だれにでも ピア・サポート～を目標にピア・サポート委員会は活動を開始した。全校児童1000人を越える子どもたちと教職員がピア・サポートに取り組むので、『ピア・サポートいっぱい青小』である。

2 特徴的な活動

本校には、「ピア・サポート委員会」がある。ピア・サポートを増やし、広げるために全校児童からピア・サポートを集め、給食の時間にピア・サポートを紹介する放送をしたり、掲示板に掲示＜提言7＞したり、活発に常時活動を行っている。

具体的なピア・サポート集めの方法は、各教室のドアにピア・サポートカードと回収袋を設置(右下写真)、全校児童がいつでも書いて出せるようにし、委員は2週に1度回収するというもの。回収後は全てのカードをチェックして、ピア・サポートしてくれた相手に届ける。全校に広めたい内容などが書かれたピア・サポートカードは、放送したり、掲示したりして紹介する。放送では、ただ読み上げるだけでなく、～いつでも だれにでも ピア・サポート～のポイントとなる事柄を添えた。＜提言6＞

ピア・サポート委員会の実施したピア・サポートカードや放送は、各学級の日々のピア・サポート指導に活用された。『カードを定期的に全体で取り組み、掲示した結果、良い言葉がけを真似する子が増えた。』『ピア・サポートを書く時間を設けたことで、いろいろなピア・サポートの見方が増えた。』『ピア・サポート委員会の放送で一言付け加えていたのがとても良かった。何を価値と置くのかがわかりやすかった。』＜提言4＞

3 本年度の成果と来年度に向けて

ピア・サポート委員会の常時活動や、日々の指導によって学校にピア・サポートが浸透していると感じられる。この良い表れを次年度も引き継ぎ、さらに全校でピア・サポートの意識を高めていきたい。今年度のピア・サポート委員会は、集めたピア・サポートカードを「相手のため」「クラスのため」「学校のため」「地域のため」に4分類した。その結果「相手のため」という1対1を意識したピア・サポートが非常に多いことがわかった。一方で～いつでも だれにでもピア・サポート～の「だれにでも」への意識を広げられなかったことが浮き彫りとなった。委員会の振り返りで課題を見つけ、次年度の活動へ生かすことができそうである。

来年度もピア・サポート委員会のある本校らしく、委員会が中心となって日常的に自然にピア・サポートできるよう活動を推進していきたい。

また、教職員が情報共有したり伝達し合ったりする場を増やし、教職員間のピア・サポート意識も高めていきたい。

